

事業所名

さわやか愛の家おかざき館

支援プログラム（参考様式）

作成日

2024 年 10 月 4 日

法人（事業所）理念		『慈愛の心 尊厳を守る お客様第一主義』						
支援方針		こどもの発達や障害特性・行動特性を理解し、個人の適応能力を向上させることをゴールとします。構造化を持ち得て適切な技能を発達させるため、正確な評価と環境整備を行います。生涯にわたる地域に根ざしたサービスと支援を行います。						
営業時間		9 時	30 分から	19 時	0 分まで	送迎実施の有無	<input checked="" type="checkbox"/> あり	<input type="checkbox"/> なし
支 援 内 容								
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな活動の中で友達と触れ合い、楽しんで体を動かすことで健康な心と体を育てます。 ・自分の身の回りを清潔にし、衣服の着脱や食事、排泄など生活に必要なことができるように支援します。 ・こどもが持つ機能等の状態に応じた専門職による個別訓練を実施していきます。 ・安全を教える為の避難訓練実施していきます。 						
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・こどもの感覚を十分に活用できるよう、さまざまな遊びを通して支援します ・こどもの状態や発達の段階に応じて感覚の偏りに対する環境調整の支援を行います。 ・自力で移動や身体移動や歩行などを積極的に行い、移動能力の向上の為の支援を行います。 ・感覚や認知の特性を踏まえ、感覚の偏りに対する環境調整を行います。 						
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・発達に応じた個別課題を行い、属性や大きさ、色や数など概念の形成を図ります。 ・コミュニケーションの困難性から生ずる行動障害の予防や適切な行動への支援を行います。 ・活動の中で視覚・聴覚・触覚など感覚を十分に活用して認知機能の発達を促す支援を行います。 ・屋外活動では季節の香りや風など季節の変化を五感で感じたりさまざまな体験をすることで興味をもつなど感性の形成を支援します。 						
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉によるコミュニケーションだけでなく、表情やカードなどを用いて自分の気持ちを伝えたりしながら意思のやりとりを行なえるよう支援します ・絵カードを用いた代替コミュニケーション（PECS）やタブレット機器を活用し、意思の伝達が円滑にできるように支援します。 ・SSTを通して言葉遣いやマナー等を教え、コミュニケーション能力向上に繋げていきます。 						
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・遊びを通じて社会性を育てます。 ・様々な経験を積んでいくことにより他者の気持ちや意図を読み取って適切な行動ができるよう支援します ・友達の中で共に活動することを通じて仲間づくりに繋がるよう支援します。 						
家族支援		<ul style="list-style-type: none"> ・常にこどもの様子をご家族に伝達し、安心して通所していただけます。 ・保護者の就労を助ける為、送迎や延長支援を実施します。 ・悩みや相談などLINEや電話で受け付け、必要に応じて専門的機関へ繋がります 			移行支援		<ul style="list-style-type: none"> ・インクルーシブ活動として休業日には地域の児童館や公園、商業施設を利用し、こどもが地域で暮らすイメージを持てるよう支援します。 ・ライフステージの移行時には移行先事業所への丁寧な支援方法を伝達します。 	
地域支援・地域連携		<ul style="list-style-type: none"> ・こどもの様子を情報共有できるように定期的に会議を開催します。 ・子どもを中心に巻き関係機関や関係者との連携をすることでこどもの成長をサポートし、将来地域で暮らして行く中で切れ目のない支援ができるようにしていきます。 			職員の質の向上		<ul style="list-style-type: none"> ・職員の知識と技術の向上のため、法人にて年間研修計画を策定しています。 ・月1回のスキルアップ研修の他、法人で虐待防止・身体拘束廃止や衛生管理の各種委員会の設置、定期的な委員会開催や研修計画に沿って研修を実施しています。 	
主な行事等		初詣 水遊び 夏祭り ハロウィンパーティー クリスマスパティー						